



学校通信

# 我が輩はトラフズク

令和6年3月22日 No.12  
弘前市立第三中学校

創造・感動・笑顔

「当たり前」のキセキ

校長 小笠原 恭史

今年度最後の全校朝会がありました。3年生がいない少し広く感じられた体育館で、1・2年生に話しておきたかったことがありました。これから三中が目指すところについて次のような話をしました。(要約)

皆さんの起きている時間の大半は学校の時間です。学校は皆さんの人生の多くを過ごす場所です。だからこそ、生徒一人一人、誰もが安心して居られる場所であればなりません。「当たり前」のことなのですが簡単なことでなくなっています。

このことを子どもたちの課題のように大人は言いますが、大人ができていくわけではありません。例えばこの地球で、人類は人類の利益を優先し、地球温暖化・沸騰化を招き、大気や海を汚染するなど、他の命たちの住処でもある環境を脅かしています。また、自分の国のために他国を攻める戦争が起きています。誰もが安心して居られる場所は勢いをもって失われ、逆に誰かのために誰かが犠牲になることが地球規模で広がっています。その広がり、学校など子ども社会にまで及んでいます。環境を脅かし、戦争を止められない大人社会から伝わってきたものなのかも知れません。

そこで皆さんにお願いがあります。ここに“誰もが安心して居られる場所”を築いていくことに、共に挑んでくれませんか。生徒の皆さんと先生方が対話し、一丸となって取り組んでいきましょう。

大人もできていない、そして日本中多くの学校もできていない、この「当たり前」を叶えるキセキを辿りましょう。

三中で一年間過ごしてきて、三中生に秘められる個性と可能性を強く感じています。私は皆さんに不安はありません。皆さんを信じています。

誰もが安心して居られる場所を築いていくためには「ルール」と「話し合い」が必要です。「ルール」は勝手を規制し、それぞれの自分らしさを守るためのものだからです。「話し合い」には協議、議論、討論など色々な形がありますが、これからの三中では、互いの違いに折り合いを付けるための話し合い～「対話」を大切にしていきます。生徒同士の対話、生徒と先生の対話、学校とご家庭、地域の方々との対話を重ねながら、三中(学校)が誰にとっても安心して居られる場所になっていくことを目指します。

来年度も、よろしくお願ひします。

## 第75回卒業証書授与式

3月9日(土)、4年ぶりに在校生も参列して、第75回卒業証書授与式が本校体育館で挙行されました。  
式では昨年4月に着任された小笠原恭史校長から、卒業生一人一人に対し卒業証書がしっかりと手渡されました。  
残念ながら来賓や地域の方々にご臨席いただくことはできませんでしたが、関係者各位の御理解・御協力をいただき、無事に実施することができたことに感謝申し上げます。

### 送辞

暖冬の影響で、例年より早く開花となりそうなこの津軽に、春の陽日が差し始める季節となりました。

雪解け水のせせらぎが聞こえてくる、春の弥生のこの佳き日、無事義務教育九年間を終えられ、卒業証書を手にされた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

これからみなさんは、決められた道ではなく、自分だけの新しい道、それぞれの人生を歩んでいかれることでしょう。

さて、私達在校生は皆さんから数え切れないほどのたくさんのことを学びました。

部活動では、いつも優しく、そしてしっかりと私達を導いてくれました。

私は、入学したてで、右も左も分からないまま部活動の見学をしていました。

見学ができる最終日に剣道部の見学に行ったところ、先輩方は明るく迎えてくれ、私に優しくわかりやすく教えてくださり、それがとても嬉しく思いました。そして、勇気を出して剣道部の入部届を提出しました。

入部すると優しく私が理解しやすいように基本から忠実に教えてくださいました。

どんなに厳しく辛い、苦しい稽古でも先輩方がいるだけでとても心強く感じました。先輩方からは剣道においての心構え、延いては生きていく上で大切なことも学びました。先輩方から教わったことを活かして、これからも精進していきたいと思ひます。

部活動ばかりではありません。

三中の柱ともなる生徒会、委員会活動の面においても皆さんは積極的に行っていました。三中のため一所懸命に活動に取り組むみなさんを見て、私達は何かのために力を尽くすことの大切さを学びました。様々な行事を企画・運営し、常に生徒全員の先頭に立って活動してこられた生徒会執行部や委員会の方々の尽力に、心より感謝申し上げます。

三中生徒会最大の行事、「三中祭」では、みなさん一人一人が輝いていました。

笑顔あふれたバラエティショー、三中央上初のシゲ広場でのサンセットフェスティバル、三年生の先輩方のダンスに開・閉祭式など私達はあの数々の輝きを決して忘れません。

卒業生のみなさん、お別れの時が刻一刻と近づいています。

最後になりましたが、先輩方と共に中学校生活を送れたことを幸せに思ひます。本当にありがとうございました。

皆さんが選ぶ道に様々な困難が待ち受けていても、その困難を乗り越え夢の実現にたどりつくことを信じています。

私達在校生は皆さんが築きあげてきた伝統を受け継ぎ、その伝統を土台に新しい、よりよい三中を作っていくことを約束し、送辞と致します。

令和六年 三月九日 在校生代表 梅津 芽生



